

～王寺町を「暮らし満足度」県内トップにするために～

「ふるさと王寺」のまちづくりビジョン

平成28年度一般会計予算等について
主な内容を紹介します

安全・安心のまちづくり

防災・減災

新災害に備えて 消防団機能を強化

非常時に備えて、消防団の拠点施設のうち老朽化した第5分団屯所の建替えと、第1分団と第2分団の消防ポンプ車の買い替えを行います。

消防団施設等整備事業
1億1,390万円

防災訓練に参加しよう!

防災意識の普及と高揚、防災知識の向上を図るため、避難所開設をはじめ、初期対応を中心に関係機関と連携した防災訓練を王寺小学校で開催します。

防災訓練事業 200万円

新住宅への雨水タンク 設置費用を補助

治水対策として、降った雨を一時的に雨水タンクに貯留し河川への流出を抑制するとともに、普段は庭木の散水などにも活用できる雨水タンクの設置費用を助成します。

◆助成額: 設置費用の1/2
(上限4万5千円)

雨水タンク設置補助事業
90万円



防犯・安全

新より明るく 安全な街路灯に

安全な交通の確保と、街路灯の維持管理を効率的に行うため、街路灯34基の支柱等更新及び照明のLED化を行います。

街路灯更新工事 1,109万円

新避難誘導灯の新設

災害時の王寺駅帰宅困難者対策として、王寺駅から避難所施設(やわらぎ会館、王寺アリーナ)への避難誘導灯を設置します。

避難誘導灯設置工事 800万円

新自治会の防犯カメラ 設置費用を補助

地域における防犯力を高めるため、自治会が設置される防犯カメラの設置費用を助成します。

◆助成額: 設置費用の1/2

防犯カメラ設置補助事業
100万円

鉄道駅の バリアフリー化を推進

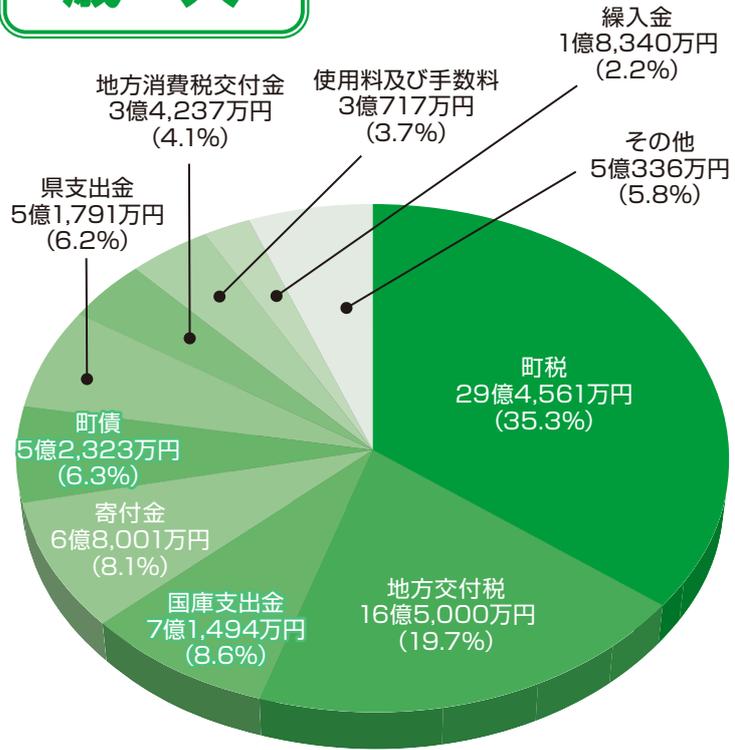
高齢者や視覚障害者の安全確保のために、JRが実施するJR王寺駅ホームの点状ブロックの張替えと、音響案内設備の更新に対して補助をします。

鉄道駅バリアフリー化推進事業
250万円

会計別予算額

区分	予算額	前年度比 (%)	
一般会計	83億6,800万円	1.9	
特別会計	60億7,611万円	2.5	
特別会計の内訳	国民健康保険特別会計	29億円	8.2
	後期高齢者医療特別会計	3億500万円	5.5
	墓地取得特別会計	91万円	0.0
	介護保険特別会計	18億3,250万円	4.5
	下水道事業特別会計	10億3,770万円	△13.7
合計	144億4,411万円	2.2	

歳入



一般会計 83億6,800万円

水道事業会計予算

		予算額	前年度比 (%)
収益的	収入	5億8,219万円	△1.2
	支出	5億4,320万円	△2.1
資本的	収入	4,184万円	△16.9
	支出	1億5,928万円	△27.9

収益的収支

給水戸数9,380戸で年間総配水量230万6千m³を見込んでいます。

収入では、5億8,219万円で、主なものは給水収益の5億414万円となっています。

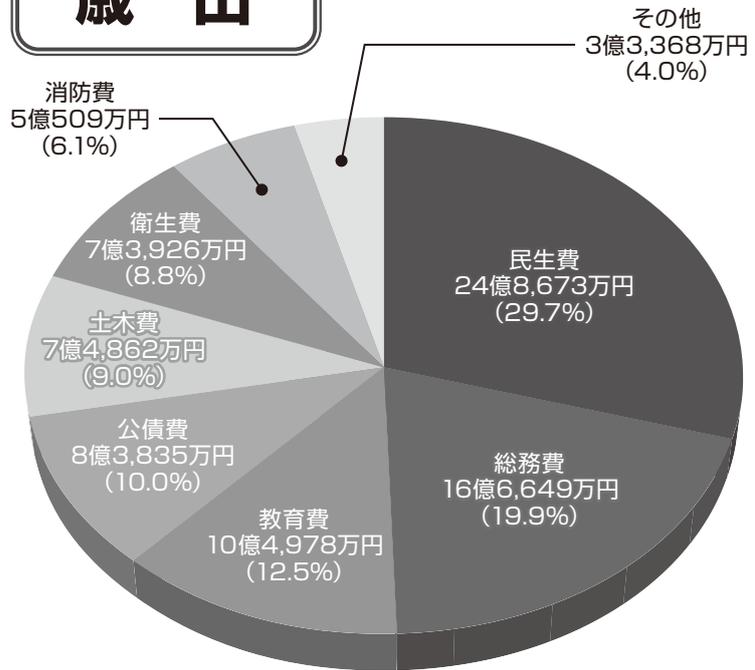
支出では、5億4,320万円で、主なものは県営水道の受水費で、年間総配水量の約64%にあたる147万m³、1億9,602万円を計上しています。

資本的収支

収入では、4,184万円で、主なものは新設加入金で2,835万円、国庫補助金で1,349万円となっています。

支出では、1億5,928万円で、配水管布設工事費を含む建設改良費や投資が主なものです。

歳出



歳出 その他の内訳

農林商工費	1億7,952万円
議会費	1億412万円
予備費	5,000万円
災害復旧費	2万円
諸支出金	2万円
合計	3億3,368万円

平成28年度予算

3月に行われた町議会第1回定例会で平成28年度当初予算が承認されました。本予算は「住民のくらし満足度県内トップをめざし「ふるさと王寺」のまちづくりビジョンに基づく政策を着実に推進するため、必要な予算を積極的に計上すると同時に、健全財政の堅持と持続可能な財政運営を心掛けた予算編成となっています。

福祉

新「地域福祉活動計画」の策定

社会福祉協議会において、生活・福祉課題の解決に向けた行動計画(アクションプラン)を、平成27年度に策定した王寺町地域福祉計画と、相互に連携を図りながら策定します。

地域福祉活動計画策定
135万円

美しい景観づくり

大和川ふれあい広場の景観向上

三郷町と連携して整備した大和川ジョギングルートや、大和川と葛下川の遊歩道を多くの方がより快適に健康促進や体づくりにご利用していただけるよう、多聞橋から出合橋にかけて、菜の花等の植樹を行い、快適な水辺空間となるように整備を行います。

大和川ふれあい広場景観整備工事
500万円



※写真はイメージです

新 買い物困難者実態調査の実施

高齢者を中心とした買い物困難者の発生が全国的な関心を集めている中、奈良大学と協働で購買調査を実施し、課題を明らかにします。

高齢者買い物困難者実態調査
100万円

障害者自動車改造助成の拡充

障害者の就労等社会活動への参加を促進するため、自動車改造助成事業について、助成回数をこれまでの「1人1回限り」から自動車の耐用年数に応じた期間(6年間に1回)に拡充します。

◆助成額:一回につき上限10万円(前回申請から6年間は再申請不可)

障害者自動車改造助成事業
50万円

ふれあいサロン活動の支援

地域に住む人たちの出会いと交流の場であるふれあいサロンを拡充し、支え合いのネットワークづくりを推進していくため、サロン開設を希望する団体に対して、開設資金を助成します。

◆助成額:1団体につき5万円

ふれあいサロン活動推進事業(社会福祉協議会)
25万円

外出支援を利用して出かけましょう!

高齢者の外出支援を目的とした「やわらぎの手帳優遇措置事業」について、一部拡充し実施します。

下記の3つの選択肢から選ぶことができます。

※見直し内容はP.10に記載

○高齢者優待タクシー運賃補助

交付額を引き上げ、さらに利用期間についても延長し、タクシーの利便性を生かした、きめ細かな外出支援の充実を図ります。

◆交付額:9,600円/年
(H27年度8,000円/年)

◆利用期間:2年間
(H27年度1年間)
432万円

○高齢者優待バス運賃補助

町内バス路線が一回100円の負担で乗車できます。

988万円

【高齢者運転免許自主返納者優待バス運賃補助】

交通事故防止と運転免許証を返納された方への外出支援として、通常は必要な100円の一部負担金が無料になります。

71万円

○高齢者優待JR運賃補助

JRだけでなく近鉄やバス等の公共交通機関でも使える高齢者優待JR運賃補助(イコカカード)は、目的外使用の抑止策としてカードにラッピングを施し、引き続き実施します。

1,375万円

健康

「歩く健康づくり」に参加しよう!

○「ウォーキング実践教室」の開催

『健康寿命奈良県一』を目指して、皆様に「歩く健康づくり」に取り組んでいただけるよう、特定保健指導該当者などを対象に健康運動指導士による教室を開催します。

○「てくてく健康チェックデー」の開催

保健師や管理栄養士による、活動量計を利用した生活習慣の改善指導や、血液検査等による定期的な健康チェックを実施します。

◆日程：毎週土曜日、平日月2回

健康ウォーク事業

161万円

新 明神山山頂を散策しよう!

自らの力で明神山へ登ることが困難な高齢者を対象に、ワゴン車で山頂まで送迎し、大パノラマを望んで散策してもらうほか、介護予防体操等を実施します。

高齢者明神山山頂体験事業
(介護保険特別会計)

33万円



りーべる王寺の健康ステーションに行こう!

日常生活の中で誰でも、気軽に健康づくりを実践できる拠点としてりーべる王寺東館5Fに「奈良県健康ステーション」を開設しています。最新の機器による健康度チェックとあわせて、活動量計の体験など、個人に適した健康づくりを支援します。

奈良県健康ステーション事業

404万円

新 公園等に健康遊具を設置

皆さんに日常生活の中で気軽に健康づくりをしていただけるよう、遊歩道や公園内に健康遊具を設置します。

公園等に健康遊具を設置

421万円

住み続けたいまちづくり

定住促進

新『住むなら!おうじ!!～住む・奈良・王寺～』(若者の定住を促進)

王寺町への若者の転入及び定住を促進、支援するため住宅取得やリフォームに係る費用を助成します。

○3世代ファミリー定住支援
子育て世帯と親世帯が町内に同居または近居するために、住

宅を取得する場合、もしくは同居するために持家をリフォームする場合に費用を助成します。

◆助成額: 1戸あたり最大20万円

○U-40定住チャレンジ支援(若者定住支援)
若い世帯(転入日または転居

日に満年齢40歳以下の者)が、町内に定住するための持家を取得する場合に費用を助成します。

◆助成額: 1戸あたり最大20万円

定住促進事業

600万円

公共施設の整備充実

新 泉の広場公民館・体育館の整備

緊急時の避難所でありながら昭和54年の建築と古く、耐震化できていない泉の広場公民館・体育館の整備について、平成27年度に生涯学習の拠点施設としての規模、避難所機能を併せ持つ防災拠点施設としての規模など施設整備の基本計画の策定を進めてきました。

新年度では、建築に係る基本設計と実施設計を行い、平成30年3月の完成をめざします。

泉の広場公民館・体育館整備事業
7,481万円

新「公共施設等総合管理計画」の策定

公共施設等の有効活用を図るため、施設の老朽化の状況、今後の利用状況の見通し、維持管理・更新等に係る中長期的な経費や、これらの経費に充てる補助金など財源の見込み等を把握しながら、今後10年間の基本方針を策定します。

公共施設等総合管理計画の策定
835万円

イベント

文化・教養・郷土愛を育くむイベントの開催

○盆踊り大会の開催
【開催時期】8月13日
500万円

○王寺ミルクウェイの開催
【開催時期】11月19日
1,300万円

新 民謡フェスティバル
【開催時期】6月5日
39万円

新 サマーファミリーシアター
【開催時期】8月
17万円

○文化講演会
【開催時期】9月22日
50万円

新 歴史リレー講座
特別記念シンポジウム
【開催時期】11月3日
50万円

新 Osaka Shion Wind Orchestraの吹奏楽コンサート開催
【開催時期】1月
192万円

新 小・中学校でクラシック音楽のワークショップ・コンサートを開催
【開催時期】2月
10万円

新『すむ・奈良・ほっかつ!～移住プロジェクト～』

北葛城郡4町の広域連携事業として、移住希望者の受け皿となる空き家のインスペクション(住宅診断)を行い、ストックファイルを整備・一元化し、住宅会社に提供するとともに、問い合わせに対応するコールセンターを設置します。

また、大阪都市圏をターゲットとして、“ほっかつ”の住みやすさ、経済的負担の軽さ、アクセスの利便性についてCMなど様々なPRを行うとともに、“ほっかつ”魅力体感イベントを開催するなど、移住促進を核とした活性化事業を国の「地方創生加速化交付金」を活用して4町が連携を図りながら展開します。

北葛城郡協働定住促進事業
2,500万円(H27年度3月補正)
※地方創生加速化交付金(補助率10/10)が採択されました。

観光

新『1400年をタイムトラベル ～太子ゆかりの里広域観光戦略』

観光振興による地域の活性化は地方創生の一番の処方箋になることから、今後の効果的な観光施策を展開するため「王寺町観光振興ビジョン」などの計画を策定します。

また、360度パノラマの明神山の更なる魅力づくりに取り組むため、恋人たちが永久の愛を誓う「悠久の鐘」の設置や展望デッキなどの整備を官学連携で進めるとともに、名所、旧跡、山々など、山頂からの眺望の写真案内板や、アプリ(インターネットサイト)の作成、ライブカメラの設置など魅力をビジュアルに発信します。

さらに、王寺町の認知度を高めるとともに魅力を広く伝えるた

め、観光プロモーションビデオを制作し、阪神地区など都市部に発信します。

このように魅力創造と広報戦略を国の「地方創生加速化交付金」を活用して、太子ゆかりの広域観光を推進することで地域経済の活性化につなげていきます。

観光振興事業
5,500万円(H27年度3月補正)
※地方創生加速化交付金
(補助率10/10)が採択されました。



※写真はイメージです

歴史リレー講座 「大和の古都はじめ」 で学ぼう!

新年度も著名な講師陣を招き、大和の歴史文化を学ぶ貴重な機会として広く発信していきますのでぜひご参加ください。

また、新たに少人数制の茶室などを活用したサロン形式での講座も行います。

- ◆日程：毎月第3日曜日
- ◆場所：地域交流センター
- ◆参加費：1回500円

歴史リレー講座
(観光協会補助金) **151万円**

住み続けたいまちづくり

まちづくり

新「都市計画マスタープラン」 の策定

今後20年の長期的視点での王寺町の都市計画のめざすべき方向と、その実現のため、都市計画法に基づく基本的な方針である『都市計画マスタープラン』を新年度から2ヵ年かけて作成します。

都市計画マスタープラン策定業務
1,252万円

新「空き家等対策計画」の策定

平成27年度に実施した空き家データベースや現地調査をもとに、新年度は所有者の意向調査を行い、空き家管理台帳を作成し、「空き家等対策計画」を策定します。

空き家等対策計画策定業務
653万円

文化財の保護・継承

新「日本遺産」認定に 向けて

「聖徳太子」とゆかりのある市町村との協働により、歴史的魅力や特色のあるストーリーを作成して地域活性化につなげていくため、「日本遺産」の認定に向けて取り組みます。

※日本遺産とは…地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産」として文化庁が認定する。

「日本遺産」認定推進事業
50万円

新「西安寺跡」 の調査を実施

聖徳太子が飛鳥時代に創建したといわれる西安寺跡(舟戸2丁目)で塔跡が発見されました。飛鳥・奈良時代の基壇及び礎石が良好に残る遺跡であることから、引き続き調査すると共に、今後、国の史跡指定に向けて、保存、整備するため「整備活用委員会」を立ち上げます。

西安寺跡史跡調査事業
210万円



妊娠・出産

一般不妊治療費の助成対象の拡大

不妊で悩む夫婦の経済的及び精神的負担を軽減するため、新年度は第2子以降にも助成範囲を拡大します。

◆助成額：一組につき年間上限5万円

一般不妊治療費助成

170万円

新 父子健康手帳の交付

子育てに必要な基礎知識を記載した手帳を妊娠届時に希望者に交付し、男性の育児参加を支援します。

父子健康手帳交付事業

4万円

新 子育てガイドブックの作成

安心して子育てができるように、ライフステージにあった子育て情報をわかりやすく1冊にまとめたガイドブックを作成し、ホームページにも掲載します。

子育てガイドブック作成

140万円 (H27年度3月補正)

新 「奈良の木の積み木」をプレゼント!

自然素材を五感で感じ、豊かな心と感性を育むことを目的に、出生届の提出時に奈良県産の木材を使った「積み木」を贈呈します。

◆対象：出生児(王寺町に住民登録)

木育推進事業

151万円

新 産前・産後ヘルパーの派遣

家事、育児が困難な方に対して、産前・産後の負担を軽減し、安心して出産・子育てができるように手助けをします。

◆利用者負担：1回につき500円

産前・産後ヘルパー派遣事業

466万円



住民に開かれ自立するまちづくり

新 出前講座の開催

町政への理解や関心を深めていただく取り組みとして、住民のリクエストに応じて職員が出向き、暮らしに密接する町の施策や各種制度について説明します。

出前講座

5万円

新 広報モニターになろう!

効果的な広報活動を進めるため、住民の中から広報モニターを募集し、町の広報活動(王伸、かわら版おうじ、ホームページ等)に対して意見を伺い、親しみやすい記事づくりに反映します。

広報モニター事業

5万円

県営水道 100%に向けて

平成29年度からの県水100%の配水に向け、安定した水圧を維持し、安全で安心な水道水の供給を図るための工事を実施します。

県水100%に向けた水道事業
(水道事業会計)

7,227万円

小・中学生

未来を担う人づくり

寺子屋塾 (雪丸サポートスクール)の拡充

地域の経験豊富な人材を活用して平日の放課後や、土曜日に家庭学習を支援する「寺子屋塾」の中学生の部を、新年度から週1回(土)を週2回(水・土)に拡充します。

寺子屋塾事業

1,654万円

新 教室等への「新聞」の配置

児童生徒が普段から新聞に慣れ親しみ、思考力・判断力・表現力等を育むことを目的に学校図書館だけでなく、教室等にも小学生新聞や中高生新聞、日刊紙を配置します。

児童生徒新聞推進事業

133万円

魅力ある学校図書館に

豊かな感性や幅広い知識を身につけるため、新年度は、学校司書をこれまでの週1回から毎日配置するとともに、新刊本などを購入することで本に親しむ機会を拡充します。

児童生徒読書活動推進事業

1,006万円

新 小中学校「ICT環境」の整備

児童生徒の学習への興味・関心を高め、思考力等を育成することを目的に、各小学校には電子黒板(プロジェクターに黒板機能を持たせた機器)を配置します。また、各中学校のパソコン教室の機器等を更新しICTによる教育環境の整備と充実を図ります。

学校ICT整備推進事業

5,346万円

(電子黒板はH27年度3月補正)

新 「太陽光発電システム等」 の設置

災害時の避難所機能の強化だけでなく、子ども達への環境教育やエネルギー教育の教材としても活用できるよう、王寺南小学校に設置します。

「太陽光発電システム等」設置工事

5,930万円

新 小中一貫教育の推進

小学校から中学校まで切れ目のない学びの環境が提供できるよう、今後の児童生徒数の見通しや学校規模の適正化等も視野に入れ、本町にふさわしい小中一貫教育について懇話会を立ち上げ、調査及び検討を行います。

小中一貫教育推進事業

526万円

新 子ども議会の開催 子ども一日町長体験

町政をはじめとする行政に関心を持ち、地域の構成員として、町の行事に積極的に参加するための取組を促進します。

子ども議会開催事業

24万円

子ども町長体験事業

5万円

乳幼児・小中学生・高校生

新 子どものインフルエンザ 予防接種費用の助成

インフルエンザの重症化の予防と、子育てを支援するため、生後6ヶ月から、小学校6年生までと中学3年生及び高校3年生を対象にワクチン予防接種費用の一部を助成します。

◆助成額: 1回当たり上限額1,500円

(上限額を下回る場合は実費相当額)

子どもインフルエンザ予防接種費用助成

644万円